

# 静岡県で活躍する医師



浜松労災病院

脳神経外科部長

竹中 俊介 医師

現在の勤務先での現況（印象や取り組まれていること等）について教えてください。

## 竹中 医師

2019年7月から浜松労災病院に勤務し5年が経過しました。44歳の時に、部長として赴任し脳卒中治療を中心に地域の中核病院として断らない医療を実践しています。当院の脳神経外科は、静岡県で初めて開設された脳神経外科で、60年以上の歴史を持ちます。私が岐阜で脳外科医の駆け出しの頃の指導医の中にも、岐阜から浜松労災病院に赴任し修練していた先生方が数名いらして、当時の話を飲み会の席などで何度も聞いていたので、先輩たちが築いてきた浜松労災病院・脳神経外科の歴史を継承できることに喜びを感じています。

私は岐阜大学脳神経外科の医局に属しており、医局人事で関連病院を回っていました。大学院では脳腫瘍や核医学の画像に関連した研究に従事していました。当時は脳腫瘍をsubspecialtyに今後やっていこうと考えていました。しかし、大学院卒業後に、秋田県立脳血管研究センターに出向する機会をもらい、そこで脳血管障害の外科治療、脳卒中診療を学びました。いろいろな出会い・チャンスがあり、現在は、脳卒中診療、脳血管障害の外科治療、カテーテル治療、脳腫瘍の外科治療などを中心に日々研鑽を積んでいます。



脳神経外科を専攻したきっかけと魅力について教えてください。

## 竹中 医師

大学生の頃に海外のテレビドラマ「ER」を見て、漠然と救急医療・救急疾患に対応できる医者になりたいと思いました。私の出身大学である岐阜大学では、当時、まだ救急部がしっかり確立されていない状況だったので、循環器内科と脳神経外科のどちらの医局に入るか悩んでいました。最終的には、手術ができる脳神経外科に興味を持ち入局しました。また、当時の岐阜大学では現在のような初期臨床研修医制度がなく、大学6年生の時点で、循環器内科と脳神経外科の医局から勧誘会と称した飲み会に誘われ、先輩医師から話を聞く機会がありました。その時、当時の准教授が「お前たちが今、漫画の世界だと考えているようなことが今後医療の世界でどんどん実際に実現されていくことになるぞ」と医療のビジョンを語ってくれました。確かに、医師になり20年以上経過し、現在の脳神経外科診療は当時の顕微鏡を用いた開頭術だけでなく、術中ナビゲーションシステムを用いた手術、光学・デジタル技術の進歩による内視鏡や外視鏡を用いたモニター手術、カテーテルを用いた血管内治療など非常に多岐にわたり、最先端医療技術に接しながら医療を実践していく楽しさがあります。

また、脳神経外科診療の魅力は、やはり患者さんの救命・人間の生命活動の司令塔である「脳」を救える可能性があることです。私が医師になりたてのころは、まだシートベルトの全席での着用義務化前であったことなどにより、重症の交通外傷が多く、多数の外傷による開頭術を経験しました。外傷の開頭術腫除去は難しい手術ではありませんが、片方の瞳孔が散大し意識障害で運ばれてくるような若い患者さんを緊急で手術し、術後、意識が回復したときは、脳神経外科医にとって最もやりがいを感じる瞬間です。

## 若手医師とのかかわりや指導について教えてください。

### 竹中 医師

5年前から部長として当院に赴任し、若い脳神経外科の先生たちと一緒に働く機会を得ました。若い先生たちには、積極的に手術や血管内治療などに参加してもらい、術者として成長して行ってほしいと考えています。実際、自分が術者になれたのも先輩医師たちからの指導のたまものであり、今度はこの技術を後輩たちに継承していく義務があると考えています。さらに現在の新しい技術を習得してもらい、自分たちの世代を礎に発展して行ってほしいです。私が指導で気を付けているのは、手取り足取りではなく、自分で治療プランを考え、積極的に治療に取り組むことです。もちろん指導医として修正や訂正は行いますが、まずは自分で考えて行動するという姿勢を身に付けてもらい、それができるようになると、独りで成長を続けていけるようになると思います。



## 医師を目指す方や若手医師へのメッセージをお願いします。

### 竹中 医師

脳神経外科を選択し20年以上が経過しましたが、脳神経外科を選択して良かったと現在思っています。若手の先生には、ぜひ自分がやりたいと思える分野を見つけてもらいたい。そして選択した領域を極めてもらいたいです。やり続けると、自分が想定していた以上の面白みや、やりがいを実感できるはずです。そのためにも、ロールモデルとなるような先輩医師・メンターとの出会いも重要だと考えます。いろいろな出会いの中で我々は成長していきます。出会いを大切に、それぞれの領域で羽ばたいて行ってください。



### プロフィール

## 竹中 俊介 医師

#### 趣味

- 読書
- お酒
- ドライブ

#### 経歴

2001年3月	岐阜大学医学部卒業
2001年4月—6月	岐阜大学病院 脳神経外科
2001年7月—2002年8月	岐阜市民病院 脳神経外科
2002年9月—2003年3月	岐阜大学病院 脳神経外科
2003年4月—2007年3月	静岡市立静岡病院 脳神経外科
2007年4月—2008年2月	総合大雄会病院 脳神経外科
2008年3月—2011年3月	中部療養センター 岐阜大学大学院 脳神経外科学分野 卒業
2011年4月—2014年3月	秋田県立脳血管研究センター 脳神経外科
2014年4月—2017年6月	静岡市立静岡病院 脳神経外科
2017年7月—2019年6月	豊橋医療センター 脳神経外科
2019年7月—	現職